



秘

114
A2619
1

司儀



府縣制改正ノ件

府縣制ハ公布以來既ニ九年ノ星霜
 行期モ亦短シトサス之ヲ數年
 ニ徵スルニ立法ノ主義宜シキヲ得
 サルモノアリ或ハ規定ノ闕漏顯然タルモ
 ノアリ或ハ從前ノ法令トノ間其ノ關係判
 明ナラスシテ適從スル所ニ迷ヒ或ハ同一
 事項ニ關シテ他ノ地方制度ト規定ヲ異ニ
 シ施行上其ノ揆ヲ一ニスルヲ得ナルヲ
 其ノ他法文ノ意義疑岐ニ涉リテ當局者ノ
 執行ニ惑フミノアルノミナラス之カ為ニ

天大
隈正
侯爵邸
四年
四月
贈月

1899



執行機關ト議事機關トノ間ニ紛議ヲ醸生
シ若ハ理事者ト人民トノ間ニ爭議ヲ續出
セシムルノ類頗ル多シ其ノ監督上ノ規定ノ
如キニ至リテハ手續繁細ニ沙リ為ニ徒ラ
ニ事件ノ遲滞ヲ招キ事務ノ簡捷ヲ闕クノ
點亦少シトナサス以上ノ弊害ハ皆現行制
度闕典ノ致ス所ニレテ之カ施行ノ責ニ當
ル本大臣ノ看過レ能ハサル所ナリトス
複選制ト直選制トニ開シ熟シ其ノ得失如
何ヲ案スルニ我邦ニ於テハ之ヲ上ニシテ
ハ衆議院議員ノ選舉ニ關シ之ヲ下ニシテ
ハ市町村會議員ノ選舉ニ關シ共ニ直接選
舉ノ制ヲ採ルニ拘ラズ獨リ其ノ中間ニ位

スル府縣會議員ノニ特殊ノ制ヲ存スルハ
立法ノ主義一貫セサルノ嫌ナシトセス且
ツヤ府縣制ニ於テモ直接ニ民意ヲ表示セ
シムヘキ選舉制ヲ採ルハ寧口社會ノ進運
ニ隨伴スル適當ノ舉措ナルヲ認ム又實際
ニ就テ之ヲ觀ルニ現行ノ複選制ハ市會町
村會ヲ以テ直チニ選舉ノ機關ト為スカ為
ニ府縣會議員選舉ニ關スル勝敗ハ一ニ市
會町村會議員ノ選舉ニ繫ルヲ以テ競爭ノ
熱度之ニ集注シ務メテ競争ノ外ニ立テ隣
保團結ノ美風ヲ養成スヘキ下級團體ヲシ
テ遂ニ勝敗輸贏ノ爭衢ヲシムルノ感アリ
是レ本大臣ノ夙ニ複選制ヲ改ムルノ必

要ヲ認ムル所ニシテ衆議院多年ノ宿論モ亦此ニ存セリ是故ニ本大臣ハ複選制ヲ改メテ直選制ヲ採レリ而シテ直選制ヲ採ルト同時ニ務メテ選舉ノ手續ヲ簡便ナラシメンコトヲ期シ据置名簿ノ制ニ依リテ隨時調製ノ煩ヲ避ケ競争區域ノ過大ニ陷ルナキヲ欲シ選舉區ヲ設クルノ法ヲ採レリ右ノ外改正案ノ現行法ニ比シ改良ヲ加ハタルモ少カラスト雖今其ノ一斑ヲ舉クレハ府縣カ財產權ヲ享有スル點ニ於テ法人タルヤ否ヤ現行法ニ於テハ頗ル明晰ヲ欲ケルモ改正案ニ於テハ明文ヲ以テ之ヲ規定シ又其ノ公共事務ヲ處理スル點ニ於

テハ自治團體タル趣旨ヲ明瞭ニシ選舉人名簿ノ正否選舉及當選ノ效力ニ關スル異議ノ申立議員ノ資格審査等ニ關シテハ最精密ナル規定ヲ加ヘ以テ專ラ權利ノ伸暢ニ注意シ府縣會府縣參事會府縣知事トノ職務關係ニ付テハ權限ノ畛域ヲ判明ニシテ紛議ノ因ヲ絶タシトテ期シ府縣ノ官吏カ其ノ公共事務ヲ處理スル點ニ付テハ新ニ之レカ規程ヲ設ケテ其ノ權限ヲ明確ナラシメタリ府縣ノ財務ニ付テモ亦改正ヲ施シタル所一ニシテ足ラズ府縣稅ノ賦課徵收方法ハ地方稅ニ關スル舊法ニ依ル所多カリシヲ改メ其ノ大綱ハ本案中ニ

規定シ其ノ細目若ハ遺漏ヲ補フハ勅令ノ
規定ニ讓ルコト、ナシタリ又會計事務
ニ關シテハ錯誤ヲ未然ニ防カンコトヲ期
シ諸般ノ重要ナル規定ヲ設ケタリ其ノ他
監督ノ條規ニ關シテハ從來内務大臣ノ許
可ヲ要シタル事項中其ノ主要ナルサレモ
ノハ概ネ之ヲ省略シテ府縣ノ自理ニ委セ
專ラ事ノ簡捷ヲ期シタリ
之ヲ要スルニ現行ノ府縣制ハ立法ノ主義
宜シキヲ得サルモノアルノミナラス其ノ
規定ノ闕漏甚多ク且繁冗ノ手續ニ涉ルモ
ノ少カラズ速ニ適當ノ改正ヲ施シテ地方
政務ノ整理ト振張トヲ圖ルハ實ニ目下ノ

急務ニ屬セリ因テ速ニ廟議ヲ決定シ別紙
府縣制改正案ヲ第十三回帝國議會ニ提出
センコトヲ望ム
右請閣議

内務大臣

府縣制改正法律案理由書

現行ノ府縣制ハ之ヲ數年ノ成績ニ徴スル
ニ其ノ闕典著明ナルモアルヲ認ム或ハ
其ノ規定ノ精密ナラズ若ハ文義ノ明晰ナ
クカ為ニ徒ラニ執行機關ト議事機關ト
ノ間ニ紛議ヲ醸成シ私人ト官廳トノ間ニ
解釋ヲ異ニシテ詐願訴訟ヲ滋シ或ハ
其ノ規定ノ實際ニ適當セサルカ為ニ專ラ
法文ニ依ラント欲スレハ往々行政ノ實ヲ
害レ務メテ實際ノ利便ニ從ハント欲スレ
ハ却テ法文ニ背戾スルカ如キ形迹ヲ顯ハ

シ或ハ規定ノ闕如セルカ為ニ實際ニ必要ナル政務モ之ヲ施行スルコト能ハサルノ憾アリ顧フニ地方自治行政ノ弛張ハ惟リ自治團體ノ盛衰ニ關スルミナラス施テ其ノ影響ヲ國政ニ及ボサルモ鮮シテ其ノ行政ノ準繩タル制度ノ闕漏既ニ此ク如ナル以上ハ宜シク速ニ適當ノ改正ヲ施シ以テ其ノ政務ノ整理ト振張トヲ企圖セサルヘカラス是レ本案ヲ提出スル所以ナリ